



## 健康づくりを地域みんなで 森脇地域自治振興区がウォーキング大会

REPORT ③

森脇地域ウォーキング大会が、10月16日に開催されました。これは、健康づくりの一環として森脇地域自治振興区が主催したもので、晴天に恵まれたこの日、地域から幅広い年齢層の29人が参加しました。

今回は、市が作成したウォーキングマップを活用し、国重要文化財荒木家住宅を中心としたコースに添って散策。ウォーキング終了後には、地元女性グループが準備したおむすびや豚汁をみんなで味わいました。

参加者は「いい汗をかけた」「こんなところがあったとは知らなかった」「同じ地域の人でも知らない人がいたが、コミュニケーションがとれた」などと話し、楽しい一日を過ごしていました。



▲ウォーキングを楽しむ参加者

REPORT ④

## 約50年ぶりの土俵入り 大相撲庄原さとやま場所が開催

庄原で約50年ぶりの地方巡業『大相撲庄原さとやま場所』が10月29日、市総合体育館で開催されました。



▲堀江校長から花束を受け取る琴南場さん

開催に先立ち、財団法人日本相撲協会の九重巡業部長から、7月16日の災害に対する見舞金が滝口季彦市長へ手渡されました。会場となったアリーナは、実

行委員会が招待した市内の小学生645人を含む約2,700人の観衆で満員御礼となり、迫力ある力士の取組と大きな歓声で溢れる熱気に包まれました。

東城町出身で今年3月に佐渡ヶ嶽部屋へ入門した琴南場さんも、早朝からの公開稽古や取組で成長した姿を披露。取組前には恩師である東城中学校の堀江信之校長から花束贈呈と激励を受けました。

取組を締めくくる結びの一番では、横綱白鵬が貫禄を見せ付け大関琴欧州を圧倒。大歓声で幕を閉じました。



## 日ごろの感謝を込め男性が手料理 東城でふれあいミニサロンと試食会

REPORT ⑤

東城町の下町自治振興区と下町きらら会が10月9日、東城文化会館でふれあいミニサロン&試食会を開催しました。

これは、日ごろ、家事を任せている女性たちに、男性たちが感謝の気持ちを手料理にして伝えようと企画したもので、4人の男性たちが自慢の腕を振るいました。

この秋とれた新米やこだわりの食材を使い、ゆず風味のちらし寿司やさわらの翁焼き、けんちん汁やきのこの炒め物など、秋の味

覚たっぶりのごちそうが出来上がりました。

おいしい料理に会話も弾み、笑顔があふれました。女性たちは、男性陣の頑張り「おいしかった。ありがとう」と口々に感謝していました。

企画した自治振興区役員の松田通治さんと川上祐三さんは、「妻が入院したときに、初めて一人で家事を経験した。そのときに感じた日々の家事の大変さが今回の企画につながった」と話していました。



▲手料理を味わう女性たち

▲料理をつくる男性陣



# ぐるり庄原 Look Around Shobara Camera Report カメラレポート

REPORT ①

## スポーツの秋～地域の代表選手が熱戦～ 第5回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会

第5回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会が10月30日、上野総合公園陸上競技場で開催されました。

当日は、台風の影響から肌寒さを感じましたが、市内各地域から選考会を勝ち抜いた30チーム150人の精鋭が集まり、熱戦が繰り広げられました。

プレー開始当初は、いつもと違うメンバーと緊張感のためか、静かな立ち上がりでしたが、時間の経過と

ともに、「ナイスプレー！」や「あ～残念」といった掛け声が飛び交うなど、選手たちは笑顔でプレーを楽しみました。

成績結果は次のとおりです。

●団体戦 順位表

	男性の部	女性の部
優勝	高野男性チーム	帝釈・Cチーム
準優勝	帝釈・Aチーム	高野女性チーム
第3位	庄原男性Bチーム	東城・中Dチーム

●個人戦 順位表 ※敬称略

	男性の部	女性の部
優勝	奥山 敏和(高野男性)	橋根 公子(帝釈・C)
準優勝	中村 克己(高野男性)	土居 政子(高野女性)
第3位	生熊 剛士(東城・上A)	佐々木千江子(東城・中D)
第4位	瀬戸 照静(帝釈・A)	瀬戸 コシズ(帝釈・C)
第5位	石川 平三(口和男性)	瀬尾 トシコ(高野女性)



▲プレーを楽しむ選手たち

## 子どもたちの笑顔あふれる 第10回こどもまつりが開催

REPORT ②

『七塚原はみんなの笑顔満開』をテーマに10月24日、第10回こどもまつりが高原の家七塚で開催されました。この日は、あいにくの空模様でしたが、同時開催の「広島県立畜産技術センター一般公開」と合わせて、親子連れや一般市民など約3,200人が訪れました。

このイベントは、子育て世代を応援しようと、市内の各団体が構成するこどもまつり実行委員会が企画。板橋一心太鼓の力強い演奏で幕開けし、広島県警音楽隊の素敵な演奏や、らんま先生のe c o実験パフォー



▲体験コーナー牛乳パックで遊ぼう



▲らんま先生のe c o実験パフォーマンス

マンスなどで会場は盛り上がりしました。

会場内では、消防はしご車やパネル展示など親子で楽しめる内容が盛りだくさん。畜産技術センターへシャトルバスも走り、牛舎の見学なども人気でした。また、子育てサークルやボランティアグループのアトラクション、保育所の保護者や地域の方による手づくり感あふれる体験コーナーもあり、子どもたちは雨にも負けず楽しい1日を過ごしていました。

## 上野総合公園で清掃ボランティア 庄原市シルバー人材センター・庄原ライオンズクラブ

REPORT ⑨

市民の健康作りや憩いの場となっている上野総合公園で、市内2団体が清掃ボランティアを実施しました。庄原市シルバー人材センター(理事長:伊藤昇)は10月16日、10月第3土曜日を「シルバーの日」とする全国一斉の奉仕活動として、本所会員91人が公園内の県道



▲落ち葉を掃き集める  
シルバー人材センター会員の皆さん

沿いを中心に、ゴミ拾いや落ち葉などを掃き集めました。参加した会員は「日ごろからたくさんの方が散歩する公園。気持ちよく利用してもらえよう少しでもきれいにできれば」と話していました。

また、庄原ライオンズクラブ(会長:谷口琢磨)の会員18人が11月10日、上野総合公園弁天島周辺の草刈りを実施しました。例年、ライオンズクラブは、毎年10月8日を「ライオンズデー」とする全国的な奉仕活動を実施しており、昨年に引き続いて上野公園での清掃活動となりました。



▲草刈り作業に汗を流す  
庄原ライオンズクラブの皆さん

2団体の奉仕作業で、これからも気持ちよく利用することができます。

REPORT ⑩

## 地域で秋の収穫を祝う 第6回ひげおやじの館収穫祭

第6回ひげおやじの館収穫祭が10月24日、ふるさと村高暮で開催されました。

当日は、あいにくの雨でしたが、この日を心待ちにしていた約60人が参加。今年は、ふるさと村高暮の宿泊利用ができるようになったことから、前泊した参加者もいました。



▲大好評の猪肉の燻製

地元高暮自治振興区が協力し、天然アユの塩焼きや猪汁、山菜お

こわや新米むすびなどを販売。中でも猪肉の燻製は好評ですぐに完売になりました。このほか、会場内ではミニ動物園や体験コーナーも行われました。つた籠作りを体験した参加者は、地元の方から指導を受けながら約30分かけて籠を完成させ「自宅でもぜひ作りたい」と喜んでいました。

主催した農家民宿ひげおやじの館の長宗弘義さんは「来年はもっと趣向を変えて開催したい。ぜひ遊びに来てほしい」と話していました。



## 迅速な作業が一命を救う ヘリコプター救急シミュレーション訓練

REPORT ⑪

高野福祉保健センター裏のヘリポートで10月15日、ヘリコプター救急シミュレーション訓練が行われました。

訓練内容は、高野福祉保健センター前の県道39号線で自動車同士の衝突事故が発生し、車内に重症の患者が1人取り残されたという想定のもと、日没で確認しにくい状況からヘリコプターを要請、患者を救急搬送するというもの。上空に現れた広島県防災ヘリコプターが、ぐるりと旋回しヘリポートに着陸。備北消防の救急隊員から県防災航空隊に重症患者が迅速に引き継がれました。

搬送作業を見守った参加者は「山間部に生活する者にとって、とても心強い」と話していました。



▲搬送作業のようす

REPORT ⑫

## 歴史の面影を残す城下町に多くの人 東城まちなみぶらり散歩ギャラリー

10月29日から11月5日までの8日間、街道東城路(東城本町筋)で「東城まちなみぶらり散歩ギャラリー」が開催されました。



▲お通り

城下町のたたずまいを残す東城のまちなかが、ギャラリーに生まれ変わり、町内外から大勢の人たちで賑わいました。訪れた方々は、手作りの作品や各家のお宝を眺めたり、

町の人たちとの会話や買い物をしたりして、思い思いの散歩を楽しんでいました。

また、日本でただ一人の指画(筆を一切使わず、指や手の甲、爪などで描く画)作家の濱田珠鳳さんの実演をはじめ、屋外ステージではコンサートなどが催されました。

期間中には「お通り」や「五日催し」も開催され、秋の東城に華やかな彩りを添えました。



▲まちなかのあちらこちらで作品展示

## 子どもたちを中心に交流が深まる 第14回口北ふれあい広場が開催

REPORT ⑬

口北小学校の児童たちが、地域の皆さんや保護者と交流する第14回口北ふれあい広場が11月7日、口北小学校で開催されました。



▲グラウンドゴルフを楽しく教わる児童

児童たちは、招待した地域の方と保護者65人の前で、クラスごとの学習発表会や全校合唱、銭ばいなどを披露。地域の方からは「フライングディスク」と「グラウンドゴルフ」を教わるなどして、交流を深

めました。昼食会では、児童たちが大切に育てた野菜などを使って、おむすびや豚汁を作って振る舞いました。また、地域の方が持ち寄った「我が家の自慢の一品」をみんなで味わい、子どもたちを中心に地域の和が広がる一日となりました。

口北小学校の高根真澄教頭は「地域の皆さんと一緒に活動する機会は少ないので、今後もぜひ続けていきたい」と話していました。



▲子どもたちが元気に発表

REPORT ⑭

## 栗田川流域農地・水・環境を守る会が最優秀賞 農地・水・環境保全向上対策の取り組みが評価

農地・農業用水などの資源や農村環境を守り、その質の向上を図る「農地・水・環境保全向上対策」で優れた活動を行った団体に贈られる、平成22年度中国四国農政局最優秀賞に、東城町の「栗田川流域 農地・水・環境を守る会」(会長:藤本勲)が選ばれ、11月22日に東城支所で、勝山達郎中国四国農政局長から表彰を受けました。

今回の受賞は、地域が一体となって行う保全活動、都市と農村の交流、地域文化の伝承や、アイガモ農法を通じ、学校と連携して行う食育の取り組みなどが高く評価されました。会長の藤本勲さんは「活動が評価されてうれしい。こういった活動が各地域でもっと広がれば」と話していました。表彰式後には、栗田集会所に移動し、地元の農業者と勝山農政局長による意見交換会が行われ、農村の抱える課題や今後の農業の展望などについて有意義な議論が交わされました。



▲農政局長から表彰状を手渡される藤本会長

REPORT 12

あこがれの広島カープの選手と交流  
アオダモの杜植樹地整備・カープ野球教室

総領町稲草「なかつくに公園」と「田総の里スポーツ公園」で11月6日、アオダモの杜植樹地整備とカープ野球教室が開催されました。

広島東洋カープの選手と共に、木製バットの原材料であるアオダモなどの苗木を植樹する「アオダモの杜」づくりに取り組んで今年で4年目。今回は「庄原さとやま博」の一環として、市内の少年野球団体を招き、植樹地の整備と野球教室を開催しました。

野球教室には、市内の少年野球7チーム

66人が参加。あこがれの選手から指導を受け、熱心に取り組んでいました。教室後には交流会も行われ、餅つきや抽選会で盛り上がりました。

参加者を代表して総領少年野球主将の永山楓さん(6年)が「教えていただいたことを今後のプレーに活かして練習を頑張ります。応援していますので来年は優勝してください。来年は優勝記念の木を植えましょう」とお礼とエールを送りました。



▲熱心に耳を傾ける選手たち



さとやまの魅力を切手で全国に発信  
『庄原さとやま博』オリジナルフレーム切手が販売

REPORT 13

みつけ体験・「さい」発見！庄原さとやま博の開幕を記念して、10月25日からオリジナルフレーム切手の販売が始まりました。

このオリジナルフレーム切手は、80円切手10枚のシートで、さとやま庄原の秋の景色やイベントが紹介されています。

同日、郵便局株式会社や市など関係者が出席して、市役所で切手シートの贈呈式が行われ、備北地区統括局長で豊松郵便局の小坂佳敬局長から滝口季彦市長と庄原市観光協会連合会の塩本誠二会長に『庄原さとやま博』オリジナルフレーム切手が手渡されました。

フレーム切手を受け取った滝口市長は「1年2カ月にわたってさとやま博を展開する中で、もう一度さと

やまを見つめ直して、この宝を全国に発信していきたい」と喜びを表していました。

小坂局長は「活力を取り戻すよう地域をあげて応援したい。庄原を切手でアピールして、多くの人に庄原へ来ていただきたい」と話していました。



▲切手を受け取る滝口市長と塩本会長

REPORT 14

色付くもみじと歴史を堪能  
弁当を持って大富山に登ろう

市の史跡に指定されている山城跡大富山に登るイベントが11月14日に開催され、約60人が参加しました。

この山登りは、地域の名所に親んでもらおうと備北商工会と西城町観光協会が企画し、今年で9回目になります。大富山が憩いの場となるよう、毎年この日に合わせて、地元自治振興区が中心となり住民が協力して登山道周辺の環境整備も行われています。

山頂では、参加者の田盛茂さんが素敵なハーモニカの演奏を披露し、曲に合せ全員で「もみじ」を合唱。大富山の歴史の説明やお楽しみ抽選会なども行われ、晴天に映える紅葉を眺めながら秋の一日を楽しみました。



▲美しい紅葉の下で弁当を広げる参加者